

平成 28 年 12 月 19 日

報道関係各位

福生市議会から国に「沖縄県名護市沖でのMV-22 オスプレイの不時着水及び普天間飛行場での同型機の着陸装置の不具合について（要請）」を送付しました

平成 28 年 12 月 13 日に沖縄県名護市東海岸から約 1 km 沖合で、米軍機 MV-22 オスプレイ 1 機が不時着水し、また、同日、普天間飛行場において同型機が着陸装置の不具合から胴体着陸したとの情報が報じられました。

今般の事故等は、横田基地への CV-22 オスプレイの配備計画が発表されている中での事故等であり、周辺住民のオスプレイに対する安全性への懸念は大きくなっています。

このため福生市議会は、国に対し、次の 3 点について要請を行いました。

- ①当該事故等の原因究明と再発防止策について、米軍に申し入れること
- ②客観的事実に基づき福生市議会に対し、事故等に関する迅速かつ正確な情報提供を行うこと
- ③事故等に係る原因究明により、安全性が確認されるまで、MV-22 オスプレイの飛行を行わないことを米軍に申し入れること

要請文本文につきましては、福生市議会ホームページをご覧ください。

お問合せ：福生市議会事務局 電話 042-551-1525